

平成 25 年度予算について

平成 25 年 3 月 29 日（金）開催の第 117 回評議員会及び第 220 回理事会において、学校法人金沢医科大学の平成 25 年度収支予算案が承認されました。

本学では、長期事業であるグランドデザイン計画を立ち上げ、本年度は、医学教育棟の建設工事を計画どおり行い平成 26 年度内の竣工を目指し、その後、病院本館の機能移転と解体を行う予定です。

さらに、医師及び看護師の定着を目的として、医学部学生及び看護学部学生の奨学金制度を引き続き実施し、また、臨床研修医確保対策事業及び看護師確保対策事業を推進します。

医学部を取り巻く環境は年々厳しくなっており、医学部の定員増による競争環境の激化、不況による寄付金や資産運用収入等の減少、医師・看護師不足などによる収支の悪化が懸念されています。

このような厳しい経営環境の中、平成 25 年度は、受験生の確保や医師国家試験の合格者数及び合格率の向上につながる教育環境を整備し、また、学生一人ひとりの能力開発及び教育の質の向上を目指した教育イノベーション事業を展開します。さらに、研究部門では、大学院の充実と特色ある独創的な研究を推進するための予算や国際交流を推進する予算を盛り込みました。

病院部門では、患者サービスの向上を目的とする事業、地域連携強化事業、患者確保対策事業、医療の高度化を目的とする事業などの予算を盛り込み、機器備品整備や電子カルテシステム更新整備等の政策予算を計上しました。また、金沢医科大学氷見市民病院についても、収益向上のための必要な予算措置を講じました。

1. 消費収支予算の概要（表 1）

(1) 収入面では、学生生徒等納付金に平成 24 年度予算に比べ（以下、前年比という）7 千 3 百万円増の 49 億 4 千 3 百万円を計上しました。

寄付金は、特別寄付金、教育振興資金寄付金、学術振興基金寄付金ほかで 6 億 6 千万円を計上、補助金は 15 億 6 千 2 百万円を計上しました。

医療収入は、前年比 4 億 5 千 6 百万円増となる 197 億 6 千 7 百万円を計上しました。入院収入は、延入院患者数は横ばいながらも手術件数の増加による入院単価増を見込み、稼働病床数を 788 床、病床利用率を 87.0%、診療単価を 60,000 円と算定して、前年比 4 億 1 百万円増となる 150 億 1 千 2 百万円を計上しました。また、外来収入は、化学療法の注射料や画像検査の増加で診療単価の上昇を見込んで、診療単価を 14,100 円、一日平均患者数を 1,155 人と算定し、前年比 5 千 5 百万円増となる 47 億 5 千 5 百万円を計上しました。

以上による、帰属収入の合計は、前年比 3 億 7 千 6 百万円増となる 275 億 8 千 3 百万円を計上しました。

(2) 支出面では、人件費総額で前年比 3 億 7 千万円の増となる 130 億円を計上しました。教育充実と医療収入増加のためのスタッフ増員等を含めて計上し、帰属収入に対する人件費比率は、47.1%となる見込みです。

教育研究経費には、医学部及び看護学部の国家試験強化対策並びに学生一人ひとりの能力開発と教育の質の向上を目指した教育イノベーション事業、大学院と総合医学研究所を核とした

研究の活性化を目的とする特別研究推進事業など、教育研究活動の一層の推進を図るため、16億3千万円を計上しました。

医療経費は医療収入の増加に伴い、総額93億5千7百万円を計上しました。薬品費等医療直接材料費の医療収入に対する割合を34.3%で計上し、医療収益の向上を図るものとしています。また、医療経費の医療収入に占める割合は47.3%となる見込みです。

以上による消費支出の部合計は、前年比4億7千3百万円増の272億2千4百万円となる見込みです。

(3) この結果、帰属収入の合計275億8千3百万円から、消費支出の部合計272億2千4百万円を差引いた平成25年度の帰属収支差額は、3億5千9百万円の収入超過となる見込みです。

2. 資金収支予算の概要(表2)

(1) 収入面では、諸事業の円滑な遂行を図るため、金融機関からの短期借入金10億円、学校債収入として4億円を計上しました。

(2) 支出面では、借入金等返済支出に、短期借入金返済分10億円と学校債の償還分5億円を合わせて15億円を計上しました。

施設関係支出には、医学教育棟建設費(中間金)、電気室受変電設備更新、病院施設改修費ほかで、合計20億1千万円を計上しました。

また、設備関係支出には、教育実習用機器整備、共同利用研究機器整備、医学図書整備、電子カルテ・オーダーリングシステム更新費及び医療機器更新などで、合計11億6千1百万円を計上しました。

(3) 以上の資金収支計算の結果、平成25年度末の次年度繰越支払資金は、46億4千5百万円となる見込みです。

3. 金沢医科大学氷見市民病院運営事業予算の概要(表3)

(1) 平成25年度は、指定管理者として氷見市民病院の管理・運営を開始してから6年目となります。前年度に7対1看護体制を整えたことに加え、25年度は、ICU加算の適用を目指し、さらに診療体制の整備(常勤医師45名体制)を図って、収益の増加を見込みます。

また、臨床研修プログラムを充実させ教育研修病院としての機能を整備し、専門・認定看護師の養成や人事考課制度の導入などスタッフの質の向上を図っていく予定です。

(2) 収入面では、医業収益及び医業外収益で57億6千5百万円を計上しました。入院収益は、一日平均患者数を201人、診療単価を48,572円として算定し、35億6千4百万円を計上しました。また、外来収益は、診療単価を11,950円、一日平均患者数を520人と見込み、18億1千4百万円を計上しました。医業外収益は氷見市からの交付金ほかで3億6千9百万円を計上しました。

(3) 支出面では、医業費用で57億2千7百万円を計上しました。給与費は、常勤医師を45名体制とし、7対1看護体制の維持を図って30億3千6百万円を計上しました。材料費は薬品費や医療材料費、給食材料費等で15億8千2百万円を計上し、その他の経費として、光熱水費1億2千7百万円、管理経費1億2千万円を含む9億9百万円を計上しました。

(4) 以上による平成25年度末の経常利益は、3千8百万円となる見込みです。

(財務部長)

消費収支予算書
(自)平成25年4月1日
(至)平成26年3月31日

(表1) (単位:百万円)

収入の部			支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	4,943	73	人件費	13,000	370
手数料	181	11	教育研究経費	1,630	15
寄付金	660	150	医療経費	9,357	260
補助金	1,562	34	管理経費	482	92
資産運用収入	150	20	借入金等利息	5	0
事業収入	260	0	減価償却額等	2,700	50
医療収入	19,767	456	予備費	50	0
雑収入	60	0			
帰属収入の合計	27,583	376	消費支出の部合計	27,224	473
			(帰属収支差額)	(359)	(97)
基本金組入額	2,000	500			
消費収入の部合計	25,583	124	消費収支差額	1,641	597

(注) は計算書式上のマイナス値、 はマイナスを示します。
前年比は平成24年度予算との比較です。

資金収支予算書
(自)平成25年4月1日
(至)平成26年3月31日

(表2) (単位:百万円)

収入の部			支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金収入	4,943	73	人件費支出	13,000	370
手数料収入	181	11	教育研究経費支出	1,630	15
寄付金収入	650	150	医療経費支出	9,357	260
補助金収入	1,562	34	管理経費支出	482	92
資産運用収入	150	20	借入金等利息支出	5	0
事業収入	260	0	借入金等返済支出	1,500	0
医療収入	19,767	456	施設関係支出	2,010	370
雑収入	60	0	設備関係支出	1,161	421
借入金等収入	1,400	0	資産運用支出	0	0
前受金収入	2,543	37	その他の支出	3,317	125
その他の収入	3,984	179	予備費	50	0
資金収入調整勘定	5,980	410	資金支出調整勘定	2,700	37
前年度繰越支払資金	4,937	484	次年度繰越支払資金	4,645	292
資金収入の部合計	34,457	444	資金支出の部合計	34,457	444

(注) は計算書式上のマイナス値、 はマイナスを示します。
前年比は平成24年度予算との比較です。

金沢医科大学氷見市民病院運営事業予算
(自)平成25年4月1日
(至)平成26年3月31日

(表3) (単位:百万円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
医業収益	5,396	医業費用	5,727
(入院収益)	3,564	(材料費)	1,582
(外来収益)	1,814	(給与費)	3,036
(受託事業収益)	4	(その他の経費)	909
(施設設備利用収益)	14	(指定管理者負担金)	200
医業外収益	369	医業外費用	0
		支出の部合計	5,727
収入の部合計	5,765	経常利益	38